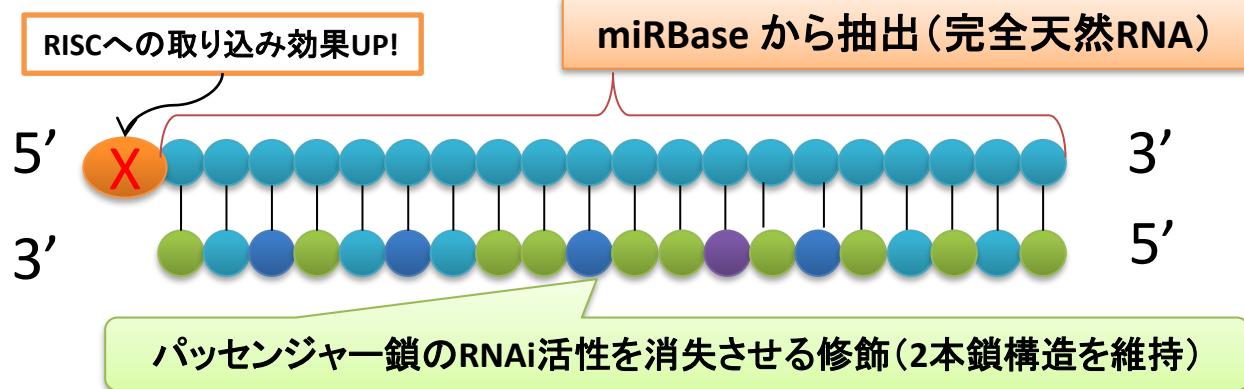


miRNA mimic

特徴



成熟miRNAそのものの活性を見ることができます！
(パッセンジャー鎖によるOff-target 活性を抑制)

申し込み方法

miRBaseの登録番号、miRNA
名称、必要量をお送りください

ガイド鎖・パッセンジャー鎖の
合成とアニーリング

約1週間※でお手元にお届け

※20nmol、簡易精製の場合

in vivo 実験用のスケールアップもご相談ください！

20 nmol 1セット ¥39,600 (税別)

【申し込み・お問い合わせ先】

株式会社ジーンデザイン 学術営業部

tel : 072-640-5180 fax : 072-640-5181
e-mail : gdi_info@jp.ajibio-pharma.com
HP : <https://www.ajioligos.com/>

【販売代理店】

【miRNA mimic 合成法の選択】

1. ガイド鎖のみ RNAi 活性を発揮する配列修飾の選択

ガイド鎖を天然RNA、パッセンジャー鎖に化学修飾を施した二本鎖RNAを複数合成した。レポーターアッセイを実施し、miRNA mimic としての機能を調べた。二本鎖とも天然RNAであるものやいくつかの合成法では、ガイド鎖、パッセンジャー鎖とともにRNAi 活性を示していた(図1. #7~#10)。ガイド鎖が強い RNAi 活性を示し、パッセンジャー鎖が RNAi 活性を示さないことを指標に miRNA mimic 修飾方法を選択した。

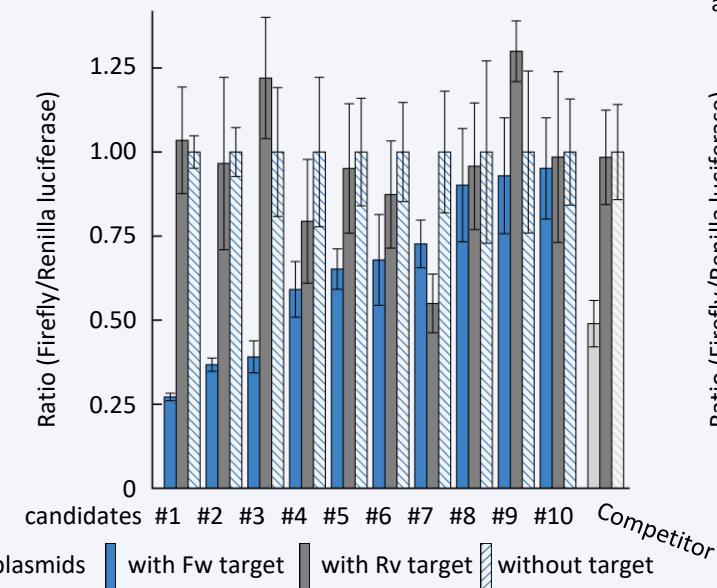


図1. レポーター遺伝子の3'-UTRに miRNA のガイド鎖の標的となる配列(Fw target), パッセンジャー鎖の標的となる配列(Rv target), もしくは、標的となる配列がない(without target)プラスミドを用い、レポーターアッセイを実施した。ここでは、一例として miR-1 mimic に対するアッセイ結果を示している。ガイド鎖の RNAi 活性が高い miRNA mimic を左から並べている。

2. miRNA mimic による RNAi 活性の濃度依存性

1. で修飾方法を選択した、miR-1, miR-135 mimic について濃度を変えて固相トランスクレクション法にて HeLa 細胞に導入したところ、濃度依存的に RNAi 活性を示した(図2a)。通常のリポソームトランスクレクション法では、0.5 nM という低濃度においても RNAi 活性を確認出来た(図2b)。

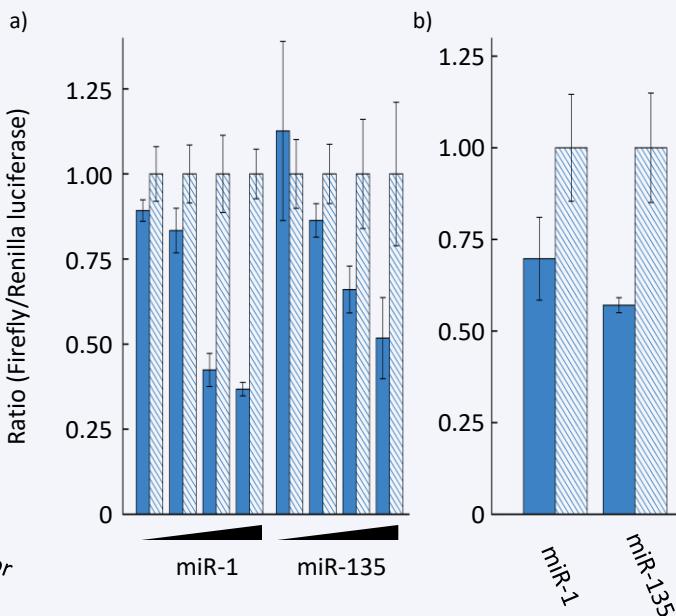


図2. a) miRNA mimic を濃度を変えて固相トランスクレクション法により HeLa 細胞に導入し レポーターアッセイを実施した。b) 0.5 nM miRNA mimic をリポソーム法により HeLa 細胞に導入し、レポーターアッセイを実施した。

【 miRNA mimic 導入による細胞生存への影響 (ミニスクリーニング) 】

32種のmiRNA mimics について、細胞生存への影響を調べた(図3)。固相トランスクレクションプレートに細胞を播種することにより miRNA mimic を導入した(図3a)。細胞死を引き起こす siRNA をコントロールとして用いることで、トランスクレクション条件を決定した。A549 細胞では、1% FBS 存在下にて培養した場合に miR-199a-5p, miR-200c-3p, miR-16-5p が生存率を低下させた。これまでに報告されている miRNA が含まれており、選択した合成法が有効であることを示していると考えられる。

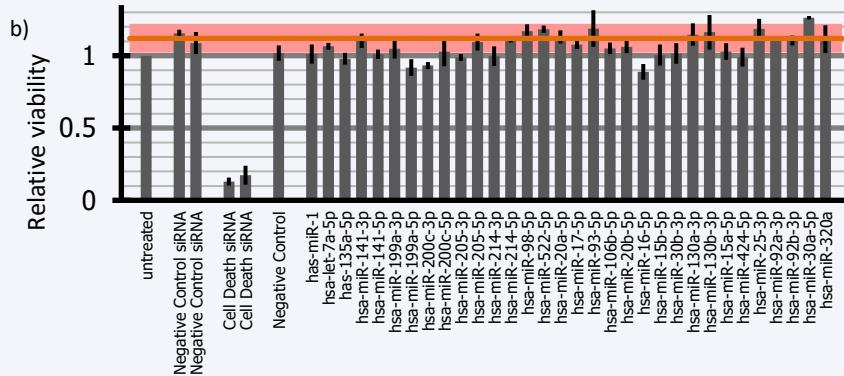
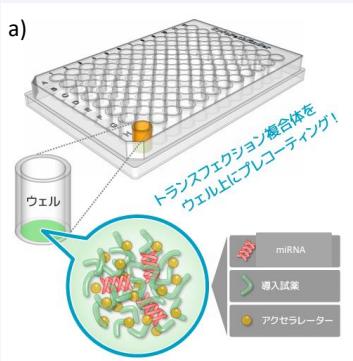


図3. miRNA mimicのA549細胞の生存率への影響を調べた。固相トランスクレクション法(a)により、miRNA mimicを導入後、1% FBS存在下で培養した(b)。